

どれが資源ごみか分かりますか？

チャレンジ！エコクイズ

市が収集する可燃ごみの中には、資源ごみとして分別できるものが多く含まれています。次の10個の中には、資源ごみとしてリサイクルできないものが4個あります。皆さんは全問正解できますか。
※答えは8ページの一冊下にあります。

- ①ティッシュペーパーの箱
- ②線香の箱
- ③封筒
- ④写真
- ⑤牛乳パック
- ⑥包装紙
- ⑦洗濯用洗剤の箱
- ⑧紙おむつ
- ⑨お菓子の箱
- ⑩紙袋

【ヒント】
ひどく汚れたもの、においの強いもの、ビニール等はリサイクルできません。

【リサイクル方法】
ビニールを剥がし、切り開いてひもで縛るか、雑誌等の間に挟んで指定日に出してください。

市が実施する補助事業

資源ごみ集団回収補助金

チャレンジ！リサイクル



ごみ減量と資源の有効利用を図るため、資源物の回収を行った市民団体に補助金を交付します。地域でリサイクル活動をしてみませんか。詳細は、問い合わせください。

【問】環境課(三和庁舎) TEL76-1511

対象 自治会・行政区や子ども会、老人会、PTA、福祉団体など営利を目的としない団体で、事前に登録を行った団体
資源物 紙類(新聞紙、雑誌、ダンボール)・金物類(家電製品以外)・ビン類(割れていないビン)・古布など
金額 1キログラムにつき5円

生ごみ処理機を使ってみよう

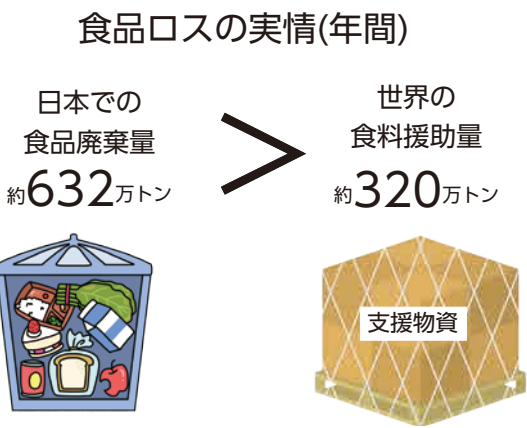
チャレンジ！水キリ



生ごみ処理機を使うと、重さが約6分の1になり、ごみ出しが楽になるだけでなく、生ごみ特有のにおいがなくなり、保管も衛生的です。補助金や無料貸し出しを利用してみませんか。詳細は、問い合わせください。

【問】環境課(三和庁舎) TEL76-1511

購入補助金
生ごみ処理機購入 上限2万円
コンポスト、EM容器 上限3千円
無料貸し出し
貸出期間 2週間
貸出場所 環境課(三和庁舎)



今、私たちにできること
食品ロスを出さないために、調理したもののはしかりと食べ切る、冷蔵庫に入っているものはしかりと使い切るなど、日々の心掛けが必要です。もう食べられないと思っ捨ててしまう前に、「どうしたら捨てないで済むのか」を考えてみましょう。
日常生活の中でどのような工夫をすれば、ごみを減らせるのか紹介していきます。
※資料：食品ロスを減らすために私たちにできること(環境省)

How to 生ごみ減量

～小さな積み重ねが生む大きな効果～

どうして捨ててしまうの？
日本では、年間約632万トンの食べ物が、食べられるのに捨てられている(食品ロス)と推計されています。これは、世界食糧基金による世界全体の食料援助量の約2倍に相当します。
このうち、家庭から発生する食品ロスの量は、約280万トンといわれており、4人家族の世帯で*毎年約6万円相当の食品を捨てていると見積もられています。
さらに、捨てられた食べ物を焼却処理するために多くの燃料が使われ、地球温暖化の一因となるだけでなく、多額の費用もかかることとなります。

今日から始める3キリ運動

使いキリ

値段が安いからといって食材を買い過ぎたり、在庫があるのを忘れて同じ食材を買うと、結局使い切れずに食材を腐らせてしまう原因になります。
事前に在庫を確認し、必要なものだけを買って、使い切ることが大切です。

食べキリ

食べ残しなどを減らすために、料理は食べられる量だけ作るようにしましょう。中途半端に残ったら別の料理に活用するなど、食べ切る工夫をしてみましょう。消費者庁で「食材を無駄にしないレシピ(クックパッド)」を紹介しています。

水キリ

生ごみの約50%は水分であるとされています。生ごみの水切りをしっかりと行うことで、減量効果が得られ、台所も集積所もきれいに使うことが可能になります。
生ごみ処理機などを併用するとさらに高い効果が得られます。